

春の不安解消講座の再追加講座 レポート
「プロが話す、木造住宅の構造の表と裏！」
《知らないとホントに怖い、木造住宅の常識と非常識》

出席者 4名 (2007/05/26 実施)
講師 日建ウッドシステムズ株
一級建築士 松山謙八氏

「木造は構造が一番大切！」

地盤について 「地盤調査のデーターを見せてください。」
「強度は大丈夫ですか？」 と必ず聞いてください。



地盤の模型です



地盤がゆるいと・・・



地盤改良にも種類があります

構造について 柱、梁の大きさ、接合で強度が変わります。
筋交いも入れ方をまちがうと強度が出ません。
水道、電気の工事で梁に穴をあけてしまう例があります。
(水道、電気のプロであり構造のプロではないので注意しましょう。)

実際に使われています。どちらに強度がありますか？



同じ 16mm アンカーでも
フックが違います



防蟻シートと防湿シート



在来用補強物と
ウッドハウス接続金物

今回の講座で松山氏が伝えたかったこと

「出来上がって見えない場所（地盤、基礎、梁、筋交い、断熱材など）は大切です。」
「内外装や設備は後から代えられますが基礎や構造は代えられません。」

ちなみに...

将来現場で大工さんが釘打ち作業をしている時に聞いてみてください。

- ・ 打ち込みの場で・・・ 「それはCNクギですか？」
- ・ 屋根の場で・・・ 「それはZNクギですか？」

びっくりして手抜き工事ができなくなるそうです。